

当社取締役会の実効性に関する評価結果の概要について

当社は、取締役会の実効性を高め、一層の機能強化を図ることを目指し、2016 年度より取締役会全体の実効性に関する評価を行っております。今般、2025 年度の評価を行いましたので、その結果の概要をお知らせいたします。

1. 評価の方法

取締役会の実効性に関する質問票を、監査等委員を含むすべての取締役 に配布し、匿名での回答を得ました。回答内容に基づき、当社取締役会は取締役会の実効性に関する分析および評価を行いました。

対 象 者：取締役会出席者全員(11 名)

回 答 者：取締役会出席者全員(うち社外取締役 4 名)

実 施 日：2026 年 4 月～5 月

質問内容：質問票における大項目は、以下の通りです。

- (1) 取締役会の構成 (2) 取締役会の運営 (3) 取締役会の議題
(4) 取締役会を支える体制 (5) 株主・ステークホルダーへの対応

そ の 他：昨年実施した実効性評価で出された各役員の意見を踏まえた課題に対する対応策の実施状況を確認いたしました。なお、2018 年 6 月からは監査等委員会設置会社に機関設計を変更しており、監査等委員会の実効性も併せて評価しております。

2. 取締役会の実効性に関する分析および評価の結果

2025 年度も、プライム市場上場企業に相応しい取締役会であるかという観点から実効性を評価した結果、昨年度とほぼ同水準の評価結果となりました。昨年の改善項目である「取締役会の議題」への対応につきましては、評価の大きな改善には至りませんでした。他の項目については、前年の評価結果と大きな変動はなく、以上の自己評価結果の分析を踏まえて討議した結果、当社取締役会は「取締役会の実効性は有効に機能している」と結論づけました。

3. 取締役会の実効性に関する評価結果を踏まえた今後の取組みについて

当社取締役会では実効性向上に向けた課題の抽出と今後の取組みについての意見がなされ、寄せられた改善点に基づき、以下の改善計画を立てて改善に取り組み、取締役会の実効性を更に高めるとともに、一層充実したコーポレート・ガバナンス体制を構築してまいります。

項目	2025 年度取組方針	取組結果	2026 年度取組方針
取締役会の運営	・会社の成長に合わせた決裁権限の見直しや権限移譲による議論の活性化	・躊躇なく意見を言え、積極的に聞き入れる雰囲気にある	・本質的議論の更なる活性化
取締役会の議題	・期初に「重点テーマ」と定めて審議する	・種々のリスク想定と議論はされている。変化の激しい時代であり、更なる充実も必要	・「重点テーマ」の期初設定と実効性のある審議
取締役会を支える体制	—	—	・役員勉強会の継続開催